

平成30年度使用

小学校用「特別の教科 道徳」教科書選定資料

長崎県教育委員会

Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点		発行者	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
<p>1 かな教育基本法の理念や第二期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	(1)	<p>か。に「一的教科の特質に忠じて、「教育の達成の育成の目」に資する内容、構成となつていている</p>	<p>・いじめを直接的に扱った教材と間接的に扱った教材を組み合わせ配置することで、いじめをしない、許さない心を育むとともに、思いやりの心や社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。また、「つながる広がる」のコーナーを設けることで、主体的に学んだことを他教科とつなげたり普段の生活に広げたりできるよう配慮されている。</p>	<p>・内容項目「公正、公平、社会正義」をいじめ問題解決の糸口にするとともに、他の内容項目でも、いじめ問題を取り扱うことで、人権意識を高め、思いやりの心や社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。また、「アクティブ」のコーナーを設けることで、主体的に体験活動や話し合い活動に取り組めるよう配慮されている。</p>	<p>・生命尊重、いじめ問題について考えを深める教材を重視するとともに、目次においても強調することで、命を大切にする心や思いやりの心、規範意識や社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。また、「学びの手引き」のコーナーを設けることで、子どもが自ら教材をとおして考えたり話し合ったりできるよう配慮されている。</p>	<p>・子どもの成長の過程を踏まえるとともに、年間を通して生命の尊さについて学べるよう教材が配置されている。また、教材文の後に学習の手引「考えよう」を配置し、めあてを示すとともに、問題を明らかにする問い、考えを深める問いなど様々な問いを位置付けることで、主体的に道徳性を高めていくことができるよう配慮されている。</p>
	(2)	<p>材に郷土「長崎」の伝統・文化や歴史、自然が扱われて理解を深めるか。</p>	<p>・6年「活やくしている日本のスポーツ選手」では、内村航平選手の演技中の写真が紹介されている。</p>	<p>・5年「日本のナイチンゲール」では、井深八重が長崎県立高等女学校英語教師であったことが紹介されている。</p>	<p>・3年「ぼくらしさってなんだろう」では、体操の白井選手を褒める内村航平選手の言葉が紹介されている。</p>	<p>・3年「あなたへのメッセージ」では、内村航平選手の写真とメッセージが紹介されている。 4年「日本に伝わる『祭り』」では「長崎くんち」が紹介されている。</p>

Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		日本文教出版	光文書院	学研教育みらい	廣濟堂あかつき
<p>1</p> <p>か教育基本法の理念や第二期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	(1)	<p>いじめ防止と生命の尊厳を重要なテーマに位置付け、複数の教材を数時間続けて学習できるようにすることで、思いやりや規範意識、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。また、「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」のコーナーを設けることで、子ども自らが考えたり暮らしとつなげたりできるよう配慮されている。</p>	<p>生命の尊厳に重点を置き、全教材で学習の展開「問いをもつ・考える・まとめる・広げる」を明示することで、命を大切にすることを思いやりの心を育むとともに、主体的に道徳性を高めることができるよう配慮されている。また、問いやヒントを紙面全体に配置し、学習の展開をイメージしやすくすることで、主体的に問題解決ができるよう配慮されている。</p>	<p>いじめを生まない力を引き出すために、教科書全体にいじめ防止につながる教材が広く横断的に配置されている。また、より効果的な学習が展開できるよう、関連教材の後に4種類の学び方「深めよう・つなげよう・やってみよう・広げよう」を明示することで、目的意識をもって主体的に道徳性を高めることができるよう配慮されている。</p>	<p>各学年に「命の教育」に関する特別ページを設けることで、生命を尊重する心を育むことができるよう配慮されている。また、全ての教材文の後に学びの手がかりとなる「考えよう話し合おう」を位置付け、発問を明示することで、対話的な学びを通して主体的に道徳性を高めることができるよう配慮されている。</p>
	(2)	<p>3年「心のベンチ」では、日本のおもてなしの心を考える教材として、「長崎県総おもてなし運動」作文コンクール入選作品と長崎市香焼町の海の写真が紹介されている。</p>	<p>3年「世界一うつくしい体そをめぐして」では、内村航平選手が題材として紹介され、他の学年でも長崎県と縁の深い人物や事物が紹介されている。</p>	<p>5年「世界に羽ばたく『航平ノート』」では、内村航平選手が題材として紹介され、「知っていますか、日本の世界遺産」では明治日本の産業革命遺産として長崎県が紹介されている。</p>	<p>6年「夢に向かって」では、内村航平選手が小学校時代に練習に励む様子や航平ノートが写真入りで紹介されている。</p>

Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点		発行者	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長	(1) か 成 す る た め に 適 切 に 配 慮 さ れ て い る 達	児童の発達 の段階に即し、 ねらいを達 している	・教科等の学習や日常生活と関連付け、効果的に指導することができるよう、教材文の後や巻末に「つながる・広がる」のコーナーを配列することにより、児童の発達の段階に即した学習が深まるよう配慮されている。	・学校行事との関連を意識した配列にするとともに、学校生活や家庭生活、現代的な課題などを「読みものコラム」として位置付けることにより、児童の発達の段階や興味・関心に即した学習が深まるよう配慮されている。	・学校行事との関連を意識した配列にするとともに、他教科と関連のある補充教材を巻末に位置付けることにより、児童の発達の段階や季節感、興味・関心に即した発展的な学習が展開できるよう配慮されている。	・児童の成長を見通し、年間を四つのまとまりに分けるとともに、2年以上の教材文の後に「つなげよう」のコーナーを設けることにより、児童の発達の段階に即して他教科や日常生活と関連付けた学習ができるよう配慮されている。
	(2) う よ り 適 切 に 配 慮 さ れ て い る か 。	児童が深く 考えること ができて、 人間として よりよく 生きるこ とを喜び や勇気を 感じ取る ことができ るよう配 慮されて いる。	・低学年では身近な話や物語を取り上げ、発達の段階に即して、宮沢賢治や辻井伸行など先人や著名人、スポーツ選手の、夢や目標達成のための人知れぬ努力や苦悩などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	・低学年では身近な話や寓話を取り上げ、発達の段階に即して、本田宗一郎や吉田沙保里など先人や著名人、スポーツ選手の、夢や目標達成のための人知れぬ努力や苦悩などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	・低学年では身近な話や物語を取り上げ、高学年になるにつれ、杉原千畝や寺川綾など先人や著名人、スポーツ選手の、夢や目標達成のための人知れぬ努力や苦悩などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	・低学年では身近な話を取り上げ、発達の段階に即してやなせたかしや国枝慎吾など先人や著名人、スポーツ選手の、夢や目標達成のための人知れぬ努力や苦悩などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。
	(3) に 配 慮 さ れ て い る か 。	学習指導 方法や問 題解決の ための活 動や課題 設定など について 配慮され ている	・「問題を見つけて考える」のページを設けて児童が問題意識を抱くようなメッセージを投げかけたり、それに関連する題材を意図的に掲載したりすることで、問題解決的な学習が展開できるよう配慮されている。	・「はなしあおう」「かいてみよう」「やってみよう」のマークを使い、道徳的価値に迫る効果的な活動につながる発問を掲載することで、問題解決的な学習や体験的な学習ができるよう配慮されている。	・役割演技を行う「ジャンプ」やソーシャルスキルトレーニング等を行う「スキル」のコーナーを設けることで、道徳的行為に関する多様な形態で体験的な学習ができるよう配慮されている。	・教材文の後に学習の手引「かんがえよう」を設け、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた指導を行うことで、児童が道徳的な価値を自分とのかかわりの中で考えることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点		発行者	日本文教出版	光文書院	学研教育みらい	廣濟堂あかつき
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長	(1) か。成児童の発達のために適切に配慮されているか。	・他教科等との関連を考慮した教材配列にするとともに、学年前半は学級づくりや人間関係づくり、後半はふり返りや深化・発展に重点を置くことで、児童の発達の段階に即して学習を深めることができるよう配慮されている。	・発展の工夫として、「広げる」段階を設定し、教材間にコラムを設け活用できるようにすることで、道徳の学習で学んだことを生活の場や他教科・領域、実生活や地域社会へとつなげることができるよう配慮されている。	・特別活動をはじめ、他教科等の学習との関連を重視した配列にするとともに、重点的に扱う内容項目は目次やページ左上の色付けで強調し、年間を通して複数の時間で扱うことで、学習が深まるよう配慮されている。	・各教科における学習内容や他の教育活動などとの関連を考慮するとともに、一部の項目を2時間連続で配置し掲載順に取り扱えるようにすることで、重点的・効果的な学習ができるよう配慮されている。	
	(2) うより児童が深く考えることができ、人間として喜びや勇気を与えられるか。	・低学年では身近な話や寓話を取り上げ、高学年になるにつれ、魁皇関や山中伸弥教授などの登場人物が夢に向かう中で悩み葛藤する姿、それを克服していく強い意志や努力する姿を取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	・低学年では身近な話を取り上げ、高学年になるにつれ、アルフレッド・ノーベルや浅田真央など先人や著名人、スポーツ選手の、夢や目標達成のための人知れぬ努力や苦悩などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	・低学年では身近な話や物語を取り上げ、高学年になるにつれ、上野由岐子やウォルト・ディズニーなど児童になじみの深い人物の、夢や目標達成のための人知れぬ努力などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	・低学年では身近な話や寓話を取り上げ、発達の段階に応じて、北里柴三郎や澤穂希など先人や著名人、スポーツ選手の、夢や目標達成のための人知れぬ努力や苦悩などを取り上げることで、人間としてよりよく生きることの喜びや勇気を感じ取ることができるよう配慮されている。	
	(3) に験習言指配的や語導慮な道活動方法を工題夫にに解決できるか。てす的るなよう適切体学う	・教材の後に「学習の手引き」として、学習の参考例を示すことで、児童が主体的に解決に取り組む問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れることができるよう配慮されている。	・教材文の冒頭に主題の導入にかかわる問いを設け、児童に問題意識をもたせることで、学習意欲を高めるとともに、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組めるよう配慮されている。	・教材文の後に「やってみよう」、「ふかめよう」のコーナーを設けることで、問題解決的な学習や役割演技など道徳的行為に関する体験的な学習ができるよう配慮されている。	・3年以上に「活動しよう」「もっと考えよう」のコーナーを設けることで、言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習ができるよう配慮されている。	

III 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
2 学習指導要領の特長 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養	(4)	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上では、他教科との関連を図りながら道徳的価値について考える「つながる・広がる」のページを設けることで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「活動」編に国語科や社会科など他教科と関連のある教材を取り入れたり、言語活動を盛り込んだりすることで、物事を多面的・多角的にとらえることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に補充教材を、1年では四つ、その他の学年では五つ設け、それを関連する教材と併せて活用することで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の後にある学習の手引「かんがえよう」に発問を設け、児童に思考を促すことで、自分の体験をもとに、多面的・多角的なものの見方や考え方ができるよう配慮されている。
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・防災、食育、国際理解など現代的な課題に対応した教材を児童の発達の段階に即して配置するとともに、いじめ問題については全学年で取り上げるなど、幅広く題材を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達の段階に即して「五輪教育」や「キャリア教育」など多様な現代的な課題を取り上げ、特に「情報モラル」「いじめ問題」については具体的な生活場面に即した題材を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生命尊重」や「いじめの解消」、「情報モラル」に関する教材は、目次で目立つように色別のマークで示したり、国際理解の教材を必ず取り入れたりすることで、広く題材を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「キャリア教育」として働くことに対する考えを深めるために、実際に働く人のエピソードを紹介するなど、多様な現代的な課題を発達の段階に即して配置し、系統的に学習できるように配置している。
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> 各学年を通して、家庭や地域の人とのかかわりに関して共感しやすい教材を取り入れることで、家庭や地域社会の一員としての役割と責任について自覚を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域社会の人々とのかかわりに関する教材を多数取り入れることで、児童が今の生活を見直したり、これからの生活について考えたりすることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文に学校生活や家庭生活、地域での活動など、実生活の場面を多く取り入れることで、児童が今の生活と結びつけて考えたり、家庭や地域社会と連携して実践したりすることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の後に学習の手引「つなげよう」を設けたり、長期休業中の実践につなぐコラムを設けたりすることで、学習したことが家庭や地域で生かされるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		日本文教出版	光文書院	学研教育みらい	廣済堂あかつき
2 学習指導要領の特長 上の指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養	(4)	<ul style="list-style-type: none"> 関係する教材の前後に「心のベンチ」のコーナーを適宜配置し、教材に関連した情報を提供することで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教材の下段につぶやきの形で発問のヒントを配置し、児童がその考えや意見をもとにしながら自分自身を見つめ直すことで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いのちの教育」を重視し各学年三つの教材を連続して配置したり、同一テーマを複数の教材で学習したりできるようにすることで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の後にある「考えよう話し合おう」の問いについて話し合うことで、他者の多様な感じ方や考えに触れ、多面的・多角的なものを見方や考え方ができるよう配慮されている。
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止」を重要テーマとして位置付けるとともに、「安全の確保」や「情報モラル」、「持続可能な社会」も併せて配置することで、発達の段階に即して教材を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「情報モラル」を現代的な課題の中でも特に配慮が必要な項目として位置付けたり、いじめ防止を本編教材の他にコラムとしても取り上げたりすることで、発達の段階に即した教材を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルに関するマークを示したり、現代的な課題を取り扱った複数の教材を発達の段階に即して配置したりすることで、課題解決への意欲や態度を育む教材を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上で、巻末に「命を守ること」、「ともに生きる社会」、「情報モラル」の観点でコーナーを特設することで、関連する教材と併用して活用できるなど、広く題材を選択している。
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> 内容項目「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の教材文の後に「心のベンチ」のコーナーを設け、関連する情報を提供することで、地域社会と連携した活用ができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を家庭での出来事や地域との交流を中心とした内容にし、家庭や地域の人との交流や連携を図りやすくすることで、学習したことを児童が日常生活へつなげることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活や地域社会に関連する教材の後に、「家の人といっしょに考えましょう」というマークを示すことで、家庭や地域社会との連携が意図的に促進されるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族とのかかわりや出来事、地域の人との交流や行事等を内容とした教材文を発達の段階を考慮して配置することで、家族や地域を自分とのかかわりで考えることができるよう配慮されている。

III 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版
3 や学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 意味のまとまりで改行することによって、読み間違いを防ぎ、文章の意味がつかみやすくなるようにしたり、各教科の道徳教育との関連を巻末の付録に取り上げることで連携を図ったりすることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の範読時間を5分程度に想定し、教材が45分授業に適した分量になるよう文章量を配慮するとともに、内容項目に関連したコラムを複数配置することで、道徳的価値の理解を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4～6年の難解な語句には脚注を付けることで教材文を読みやすくしたり、巻末に四つから五つの補充教材を加えることで、質・量ともに豊かな記述内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り仮名の付け方に配慮することで読みやすい文になるよう工夫したり、各学年に二つ又は五つのコラムを配置したりすることで、質・量ともに豊かな記述内容となるよう配慮されている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や写真を大きく掲載し、教材への興味や理解が深まるよう配慮されている。また、漫画のキャラクターを多く用いることで児童が興味・関心をもてるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漫画のキャラクター等を用いたり、自然を題材とした教材に関連した写真やイラストを多く用いたりすることで、自然のすばらしさや環境問題について、児童が興味・関心をもてるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵を教材文の場面と関連させて掲載したり、自然等の美しさや崇高さが感じられる色彩豊かな写真を提示したりすることで、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や漫画、イラストを用いた教材を提示したり、図表等で事実をとらえやすくしたりすることで、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> AB判で製本され、行間にゆとりをもたせて文章が読みやすいよう配慮するとともに、学年段階に合わせた文字の大きさ、字詰や行数にしたり、本文書体に少し太めの教科書体を使用したりすることで、発達の段階に即したものとなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判の二分冊構成で製本され、「活動」は内容項目ごとの見開き構成にすることで「読みもの」の学習との関わりを明確にしている。また、発達の段階に即した文字の大きさになるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 横広のAB版で製本することにより、見開きページに挿絵や写真等を大きく掲載したり、行間を確保したりすることで、見やすくなるよう配慮されている。また、色と形を用いたマークを表示することで、内容のまとまりが分かりやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 持ちやすいB5版で製本され、各学年での文字の大きさやフォント、字詰め、行詰めなどの表記を発達の段階に合わせることも、余白を工夫することで、文章や挿絵に目が向くよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		日本文教出版	光文書院	学研教育みらい	廣済堂あかつき
観点					
3 や学習効果の特長 や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現	(1) るなく、文章か記述は、内容量とわかりやすさについて豊かな	<ul style="list-style-type: none"> 文意が伝わりやすいよう文章構成を工夫するとともに、あらすじや登場人物、主題に関する問い、頭注による補足説明等を記載することで、わかりやすく豊かな記述内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 短い文で構成することで内容をとらえやすくするとともに、巻末に付録として五つから六つの教材文を掲載することで、豊かな記述内容となるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の記述をできるだけ平易で、理解しやすい表現になるよう工夫したり、読みやすさを考えた改行や頭注をつけたりすることで、児童が内容を理解しやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4年までは分かりやすい表現を用いるとともに、5年以上は学習上説明を要する文言や固有名詞などに、必要に応じて脚注を付けるなど、発達の段階に即した表現になるよう配慮されている。
	(2) る学習効果に十分配慮されている	<ul style="list-style-type: none"> 学習の手引では、教材の挿絵と児童が主体的に学習している写真を区別して提示したり、4年以上では自然や人の営み等を印象付ける大きな写真を掲載したりすることで、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 馴染みのある漫画のキャラクターを用いて興味を引いたり、1年から3年までには漫画やイラストを使って場面を把握しやすい教材提示をしたりすることで、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の記述との適切な関連はもとより、内容、掲載点数を踏まえ、印象的な挿絵や写真を教材の適所に配置することで、興味・関心をもって学習に取り組む、理解を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストを大きく扱うことで、児童にとって見やすく親しみやすい紙面としたり、一枚の写真や一篇の詩をもとに考える教材などを取りそろえたりすることで、児童の意欲を喚起することができるよう配慮されている。
	(3) さ本レイアウトや色紙、文字の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 横広のAB版で製本され、文章の上部の余白や行間を確保することで読みやすい配置となっている。各学年に別冊の道徳ノートがあり、自分の考えを書けるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4版で製本され、教材の扉や終わりにあるまとめ等は大きめの文字で記載されている。また、教材文の下欄には展開に沿った問いが掲載されており、学習の展開がわかりやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4判で製本され、視覚的にゆったりした紙面となっている。すべての読み物が見開きで始まり、4つの視点ごとに色分けされ、見通しをもって学習することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判の2分冊構成で製本され、白を基調としたゆとりある紙面になっている。マークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるよう配慮されている。